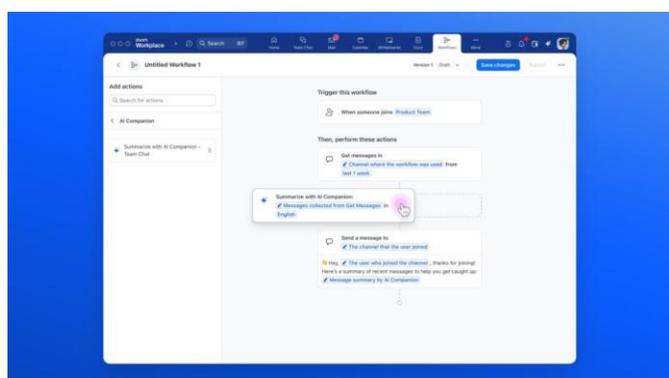


## 製品・サービス動向-国内

■ZVC Japan:Zoom Workflow Automation  
が一般提供開始、「Zoom Workplace」と  
AI Companionの機能アップデート、Zoom  
ビジネスサービスで新機能など

(PRTIMES:3月5日)

ZVC Japan 株式会社 (<https://www.zoom.com/ja>) (東京都) は、「AI Companion」のサポートを受けて、雑務を自動化することでより多くの仕事をこなせるようにするワークフロービルダー「Zoom Workflow Automation」の一般提供を開始した。また、「Zoom Workplace」とAI Companionの機能アップデートや、「Zoom Revenue Accelerator」「AI Expert Assist」、ワークフォース管理の新機能も発表した。



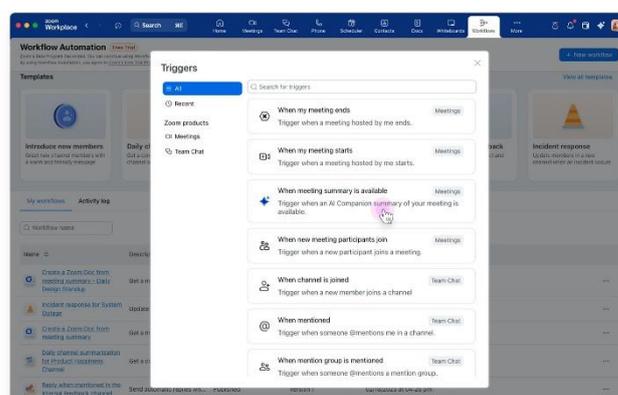
Zoom Workflow Automation の画面例 (ZVC Japan)

## Zoom Workflow Automation の一般提供開始

Zoom の使命は、AI によって人々に力を与え、より多くの仕事をこなせるようにすること。そのために Zoom Workflow Automation で AI Companion の機能を活用できるようにした。

IT 管理者や情報担当者にとって、手作業でワークフ

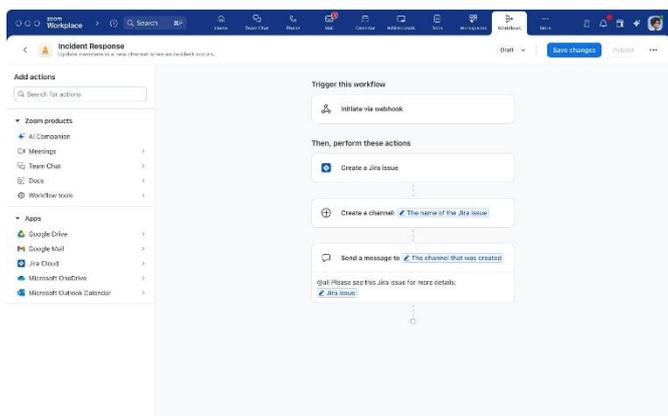
ローを構築するのは時間のかかる作業だ。また、他のワークフロー自動化技術では、ワークフロー構築に関する経験や技術的な知識が必要とされるが、一方、Workflow Automation はノーコード技術とテンプレートを使用してタスクを簡単に自動化するため技術的な経験を持たないユーザでも作業時間を短縮することができる。



ワークフローを開始する際に選択できるさまざまなトリガーを用意(ZVC Japan)

今回の発表により、組織は、Zoom Workflow Automation を使用して、Zoom Workplace とサードパーティ製アプリ (Google、Microsoft、Jira など) 全体でワークフローを設定し、チームの作業を自動化することが可能になる。

なお、Workflow Automation はトライアル期間中、Zoom の有料プランを利用している方は追加料金なしで利用できる。Zoom デスクトップアプリのバージョン 6.3.10 をダウンロードするだけで、今すぐ Workflow Automation を利用できる。



Jira と統合したワークフローを構築することも可能  
(ZVC Japan)

## Zoom Workplace と AI Companion の機能アップデート

次に Zoom 社は、Zoom Workplace と AI Companion の機能もアップデートし、ミーティングの開始前、ミーティング中、終了後におけるコラボレーションがさらに便利になった。

たとえば、AI Companion と連携した新しい Zoom Clip アバターで Zoom Clip を大規模に生成したり、Zoom Docs のフォームを使って簡単にデータ収集したり、近日登場予定の Zoom Meetings 用の Youtube アプリ、さらに多くの言語で利用できるようになる Zoom Meetings や Zoom AI Companion のサイドパネル、よりクリアなミーティング音声を得ることができる Zoom Rooms コンパニオンオーディオ、高度な図の作成のためのコンテナを使用する Zoom Whiteboard などがある。

なお、新しい Zoom Clips アバターを含む Zoom Workplace の機能拡張は、Zoom アカウントの有料サービスに追加料金なしで利用できるようになっている。また、一部の機能や業種によっては利用できない場合や制限される場合がある。

## Zoom ビジネスサービスで新機能

Zoom 社は、Zoom Revenue Accelerator、AI Expert Assist、ワークフォース管理の新機能を発表した。コンタクトセンターのエージェントと営業チームの顧客対応を簡素化し、管理者の人員配置計画を改善する。

いつでもどこでも案件を前進させ、チームとコラボレーションできるようになる Zoom Revenue Accelerator Mobile(ZRA Mobile)、AI Expert Assist 用のカスタマイズ可能なスマートノートテンプレート、業務量や対応時間を調整できる Zoom ワークフォース管理などがある。

Zoom 社のミッションは、無限に広がる人とのつながりを可能にする AI ファーストのワークプラットフォームを提供すること。Zoom Workplace でチームワークを再構築し、チームの生産性を向上する。Zoom Workplace とともに Zoom Contact Center を含む営業、マーケティング、カスタマーエクスペリエンスチーム向けの Zoom のビジネスサービスは、顧客ライフサイクルを通じて顧客との関係を強化する。2011 年に操業した Zoom は上場 (NASDAQ : ZM)、米国カリフォルニア州サンノゼに本社を置いている。

## セミナー・展示会情報

### <国内>

#### ■Zoom CX Summit Tokyo 2025

##### AI 時代の CX 進化: Zoom で変わる顧客体験の最前線

日時：4月17日(木) 13:15～17:45(受付:12:30より)

会場：室町三井ホール&カンファレンス

主催：ZVC Japan 株式会社

詳細・申込：<https://click.zoom.com/japan-cx-summit-2025>

#### ■ブイキューブセミナー情報(4月)

「もう音漏れに悩まない! 個室ブースの防音体験会!!」「インサイドセールス&電話営業の新常識! AI の徹底活用でアポ数を2倍にする最新戦略!!」「WebRTC より簡単実装! 技術者向け通話・配信 SDK 入門講座」など

会場：オンライン/オンデマンド/東京

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

#### ■Webex Meetings 関連ウェビナー(4月)

会場：オンデマンド

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：[https://www.cisco.com/c/m/ja\\_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html](https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html)

国内その他：<https://cnar.jp/cna/event-j.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

## 業界の動き

オンライン会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■X（旧：Twitter）（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dtc-forum）

<https://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

## 定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記 URL で閲覧できます。

<https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

## お知らせ（重要）

—配信システムの変更について—

長年配信システムのひとつとして使用してきました、まぐまぐですが、すでにご案内の通り、まぐまぐでの配信を2024年10月末号にて終了いたしました。今後は、CNA レポート・ジャパンのサイト、X（旧ツイッター）、facebook ページ、dtc-forum メーリングリストでの配信とさせていただきます。

この定期レポートをまぐまぐで受信されている読者の方は大変お手数ですがいずれかの受信方法へご変更お願い致します。

>CNA レポート・ジャパン サイト

<https://cnar.jp>

>X(旧ツイッター)

<https://x.com/cnarjapan>

>facebook ページ

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

>メーリングリスト（dtc-forum）

<https://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

■CNAレポート・ジャパン 2025年3月31日号

ホームページ：<https://cnar.jp>

お問い合わせ：[inquiry@cnar.jp](mailto:inquiry@cnar.jp)